

廿日市市立佐伯中学校 令和6年度

## 【自律】学校だより

ホームページ [http:// www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/](http://www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/)

学校教育目標:「夢や目標に挑戦し、自己実現を図る生徒の育成」

9月号 (No.12)

令和6年

9月18日(水)

### 江田島宿泊研修へ行ってきました！

1年生が9月10日(火)から11日(水)にかけて国立江田島青少年交流の家に行き、一泊二日の宿泊研修を実施しました。この研修に向けてスローガンを「切磋琢磨」とし、班長会で決定した「切り替えを意識して、みんなで学び楽しむ」「5分前行動をする」というルールを心掛けて取り組んできました。

当日は、朝早くから登校している1年生の姿があり、出発式を終え、バスに乗り込む時、とてもワクワクした表情でした。

佐伯中を8時半に出発し、約2時間半をかけて目的地に到着しました。

午前の活動は、カプラ(KAPLA)でした。カプラとは、しおりの中に書いてあった文を引用すると、1998年にフランスで生まれ、名前の由来はオランダ語にあるそうです。手のひらに載るほどの薄くて小さい板を使い、「どの班が一番高く積み上げることができるか」に挑戦しました。一番高く積んだ班は、人の背丈を超えるものでした。高さにこだわらず、美しさにこだわる班もありました。どの班も協力して取り組んでいました。

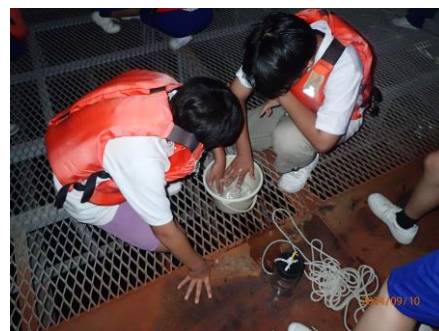


午後の活動は、オリエンテーリングでした。班ごとに協力し合い、活動しました。初めて体験する生徒もいましたが、楽しめたようです。高台からの眺めは天気も良くて最高でした。

そして、夜は19時から荒代海岸へ行き、海洋研修館の西原館長のご指導のもと、栈橋からウミホタルを採取して観察する活動をしました。ウミホタルは、大きさが2mmくらいで

昼間は海の砂の中に隠れ、夜になるとえさを求めて泳ぎ回るそうです。

生徒は救命胴衣を着用し、仕掛けを海に沈め15分位待ってから持ち上げると、たくさんのウミホタルを捕獲することができ



ました。刺激を与えると、何匹ものウミホタルが青白い光を放っていました。私は、観察の時間に参加しましたが、生徒と一緒に感動を味わうことができました。万が一に備え自衛隊の救急車もスタンバイしてもらい、スタッフの方にも見守られ無事に活動を終えました。

2日目は「カッター研修」を行いました。カッターは全長9mで重さは1.5トンです。学級ごとに乗り込んで漕艇しました。オールを握りしめ、職員さんの指示を受けて漕ぎますが、初めのうちは指示通りにコントロールすることはぎこちなく、全員の動きもバラバラでした。しばらくするとみんなで協力して、声を掛け合っていくうちにコツを掴み、やがてオールが揃い、スムーズにカッターを漕ぐことができるようになりました。2日間の貴重な体験活動をとおして、一人ではできないことを仲間と協力して取組み、目標を達成することができました。



## 健闘を祈ります！

3年生の大河駿仁さんが、先日8月18日(日)に出雲市の島根県立浜山公園球技場で行われた中国ブロック大会で、男子団体の部で優勝しました。その結果、10月5日(土)~7日(月)に佐賀県の鹿島市陸上競技場において行われるSAGA2024国民スポーツ大会アーチェリー競技へ広島県選手団の一員として出場します。

健康管理等にも留意して、日頃の練習の成果を発揮できるよう活躍して来てください。みんなで応援しています。

## 生徒暮会(9月)の様子

生徒会執行委員が、生徒アンケート結果をもとに1学期の課題を報告し、2学期の目標を確認しました。「もっと積極的に挨拶しよう」「身だしなみをお互いに気を付けよう」などを呼び掛けていました。また、「佐伯中に誇れるものがある」と回答した生徒は60%という報告がありました。

佐伯中の文化祭は生徒の皆さんが誇れる行事のひとつだと思います。今年も楽しみにしています。

